

試 合 規 則

試合時間

	本戦	延長
上級選抜	1分30秒	1分 (マスト)
中級	1分30秒	1分 (マスト)
未勝利・初心・初級	1分	1分 (マスト)
1 ミニッツ	1分 (マスト)	
1 ミニッツ (決勝)	1分	1分 (マスト)
団体戦	1分 (マスト)	

勝敗・判定

- 一本・技あり > ダメージ > 技の的確性 > 手数足数 > 積極性が勝っているものを勝者とする。
- 主審1名、副審4名、または2名にて判定、持ち点1点とし、3／5点または2／3点以上を取ったものを勝者とする。
- 技有りを取った後、消極的な姿勢または掛け逃げなど、積極性が見られない場合、審判の権限で引き分けの判定をくだされる場合もある。(技有り1回でも必ずしも勝ちとはならない)
- 相手選手の攻撃により、泣いてしまった場合、又は嘔吐した場合は失格とする。
- 判定は、主審含む全審判の一斉上げとする。

一本勝ち

- 反則箇所を除く部分へ、突き、蹴り、等の攻撃により相手選手の戦意を喪失させた場合は一本勝ちとする。
- 技有りを2回とった場合は合わせ一本勝ちとする。

技有り

- 反則箇所を除く部位に、一本には至らないが、有効な攻撃によって相手の体勢が大きく崩れた場合または足掛け、合わせ技などで相手に対し一時的に戦意を喪失させた場合は技有りとする。
- 前蹴り、下段蹴りで相手を瞬時に倒した場合。

延長戦

- 3本または2本の旗が上がらない場合は、引き分けとし延長戦を行う。

反則

次の場合を反則行為とし、その程度に応じて「注意」「減点」「失格」を主審が宣言する。

- 手技等による首から上（首を含む）への攻撃、金的攻撃、背骨への攻撃、頭突き、背後からの攻撃。
- 押し、つかみ、投げ、手掛け、技の掛け逃げ。
- 上段膝蹴り。（上級は有り）
- 胴回し回転蹴りなどは、掛け逃げと判断された場合には注意を受ける事もある。
- ケンケン蹴りは攻撃に繋がらない威嚇行為と判断された場合は注意を受ける事もある。
- 技ありを取った後、試合時間を無駄に費やす行為があった場合には(掛け逃げ、過度な場外エスケープ)引き分け判定になる場合がある。
- 反則は悪質なものを除き「注意」が与えられ、特に悪質な場合は「失格」となる。
- 試合中に無意味な発声や、相手の人格を無視するような行動をとること。
- 審判団の指示に従わない、判定に対して抗議、不服を申し出た場合は失格とする。
- 審判団の判断で、申告体重より1 kg以上の体重増加が発覚した場合、減点1とし、2 kg以上の場合は失格とする。
- 審判、スタッフが注意しても従わない時は退場していただく場合がありますので、選手の努力が無にならないようマナーを遵守して応援してください。

注意 減点

- 指導2 → 注意 → 減点1 → 減点2 → 失格

計量

- 規定体重より、道着のズボン・Tシャツで [+1 kg未満：OK] [+2 kg未満：注意1] [+3 kg未満：減点1] [+3 kg以上：失格]